

第57回
東海地区国立高等専門学校
体育大会プログラム

柔 道 競 技

日 時：令和元年6月29日（土） 開会式 10：00
競技開始 10：20
令和元年6月30日（日） 競技開始 10：00

会 場：香陵武道場

主管校 鈴鹿工業高等専門学校
担当校 沼津工業高等専門学校

会 長 挨拶



第 57 回東海地区国立高等専門学校体育大会

会 長 吉 田 潤 一

(鈴鹿工業高等専門学校長)

第 57 回東海地区国立高等専門学校体育大会の主管校を務めるにあたり、ご挨拶申し上げます。

昭和 38 年に豊田高専を会場に第 1 回大会が開催されて以来活発な活動を続けてきた本体育大会は、令和元年となった本年で 57 回目を迎え、歴史の重みを強く感じているところです。

本大会もこれまでと同様、競技は岐阜、鳥羽、豊田、沼津の各高等専門学校のご協力のもとに運営されます。6 月 22 日(土)の硬式野球競技を皮切りに、10 月 27 日(日)のラグビーフットボール競技まで、16 種目が 5 地区の競技場において繰り広げられます。各高等専門学校のチームが、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、スポーツパーソンシップに則り、正々堂々と競い合うことはもちろんのこと、この機会を活用し、お互いの交流を深めることを強く願います。

さて、国立高等専門学校は、本年から第 4 期に入り、Society 5.0 で実現する、社会・経済構造の変化、技術の高度化、社会・産業・地域ニーズの変化等を踏まえ、高等専門学校教育の高度化・国際化を進め、社会の諸課題に自律的に立ち向かう人の育成に取り組むことが求められています。これには、スポーツ面からのアプローチも大きな力を発揮してくれるでしょう。身体面からの強化はもちろんのこと、仲間との練習や協働作業、試合に向けた準備や運営などを通じて、コミュニケーション力やマネジメント力なども育成されるものと確信しています。

最後になりましたが、本地区大会を開催するに当たり、事前の準備、会場設営、大会運営等に多大なご尽力を賜りました関係各協会、諸団体ならびに関係者各位に心より感謝申し上げます。

大会役員

会長	鈴鹿工業高等専門学校長	吉田潤一
副会長	岐阜工業高等専門学校長	伊藤義人
	鳥羽商船高等専門学校長	林祐司
	豊田工業高等専門学校長	田川智彦
	沼津工業高等専門学校長	藤本晶
	鈴鹿工業高等専門学校学生主事	下野晃
	鈴鹿工業高等専門学校教務主事	下古谷博司
委員	岐阜工業高等専門学校学生主事	山本浩貴
	岐阜工業高等専門学校体育主任	麻草淳
	岐阜工業高等専門学校事務部長	木林透
	鳥羽商船高等専門学校学生主事	坂牧孝規
	鳥羽商船高等専門学校体育主任	山田英生
	鳥羽商船高等専門学校事務部長	山内浩一
	豊田工業高等専門学校学生主事	安藤浩哉
	豊田工業高等専門学校体育主任	高津浩彰
	豊田工業高等専門学校事務部長	千葉直樹
	沼津工業高等専門学校学生主事	高野明夫
	沼津工業高等専門学校体育主任	渡邊志保美
	沼津工業高等専門学校事務部長	杉浦利勝
	鈴鹿工業高等専門学校体育主任	宝来毅
	鈴鹿工業高等専門学校事務部長	浅見宏信
	鈴鹿工業高等専門学校総務課長	五十棲等
	鈴鹿工業高等専門学校学生課長	河村俊男
参与	岐阜工業高等専門学校教務主事	和田清
	鳥羽商船高等専門学校教務主事	伊藤友仁
	豊田工業高等専門学校教務主事	塚本武彦
	沼津工業高等専門学校教務主事	小林隆志

開 会 式 次 第

選手団・役員 整列

- 一. 開式のことば
- 一. 優勝杯返還
- 一. 競技委員長挨拶
- 一. 選手宣誓
- 一. 競技上の諸注意
- 一. 閉式のことば

閉 会 式 次 第

選手団・役員 整列

- 一. 閉式のことば
- 一. 成績発表
- 一. 表彰
- 一. 講評
- 一. 競技委員長挨拶
- 一. 閉式のことば

柔道競技要項

期 日	令和元年 6月29日(土)・30日(日)
会 場	沼津市香陵武道場 住所:410-0832 静岡県沼津市御幸町15 電話:055-933-0330(勤労者体育センター)
審判・監督会議	9時30分
開会式	10時00分
閉会式	競技終了後

A. 競技規定

- (1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規定」による。
- (2) 試合時間は、全国大会団体予選・男女個人戦とも4分とし、勝抜戦は3分とする。
- (3) 「優勢勝ち」の判定基準について
 - ① 団体試合は、「技有」又は「僅差」(指導差2)以上とする。
 - ② 団体戦の代表戦(任意選出)及び個人試合は、「技有」以上とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦を(ゴールデンスコア)時間無制限で行う。両試合者が「同時反則負け」「同時一本」の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)で勝敗を決する。代表選以外の「同時一本」の場合は「引分」とし、「同時反則負け」の場合は両者負けとする。
- (4) 関節技においては、その効果があると認めたととき、審判員の見込みによって「一本」の判断を下すことができる。但し、絞技においては、見込みによる判定を行わない。
- (5) 選手は、全日本柔道連盟規格の柔道衣を着用し、規定のゼッケン(横30±3cm, 縦22±3cm)を付けること。また、試合中柔道衣の破損などにより、試合に支障をきたす場合には、同チームの別の柔道衣(規定に合ったもの)の着用を認める。(H30年までは旧規格でもよい)
- (6) 試合中審判に対して意見(抗議)を言う監督については、三人の審判員で合議し、その監督に言動を慎むように注意をすることができる。なお続くようであれば、その監督を退場させることができる。(全柔連通達事項を重視する)
- (7) 出場選手は、全日本柔道連盟に登録している者とし、申し込みにあたっては、全日本柔道連盟登録IDナンバーを記入すること。
- (8) 出場選手の変更については、正当な理由がある場合、所定の用紙に手続きした上で、顧問会議によって可否を決定する。
- (9)
 - ① 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
エ 当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - ② 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。脳震盪対応については、全柔連通達事項を厳守する事。

B. 競技方法

- (1) 全国高専大会団体予選
 - ① 試合は、5高専によるリーグ戦で行う。
 - ② 各試合は、5名の選手による点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
 - ③ チーム人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内とする。

- ④ リーグ戦内のチーム対チームの勝敗は、勝数の多いチームを勝とする。勝数が同数の場合は、勝内容(一本勝数・技有勝数)の多い順で決定する。勝内容も同じ場合は、引き分けとする。ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
 - ⑤ リーグ戦の順位決定は、チーム戦勝数の多いチームを上位とする。勝数が同数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝負同数の場合は、総得点の多いチームを上位とする。それでも勝負が決定しない場合は、代表戦によって決定する。
 - ⑥ 団体試合の勝内容は、一本勝ち(不戦・棄権・反則)10点、技有勝7点、僅差勝3点、引き分け・負け0点とする。
 - ⑦ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。(当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。)
 - ⑧ 表彰は、1位に優勝杯、1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - ⑨ 優勝校は、第54回全国高等専門学校体育大会(団体の部)への出場権を得る。
- (2) 男子個人の部
- ① 出場人員は、監督1名、マネージャー1名、選手は60kg級・73kg級・90kg・90kg超級の4階級に14名以内の出場とする。
 - ② 試合は、体重別によるトーナメント戦とする。(トーナメント戦の組合せについては、出場人数の関係上試合数に不平等性がある場合、顧問会議で確認し再抽選を行うことができる。)
 - ③ 3位決定戦は行わない。
 - ④ 計量に合格しない者は、出場できない。計量は、マネージャー立会いのもと行い、所定の時間内であれば何度でも行うことができる。ただし選手の計量は1日で行うものとする。(大会初日の試合終了後の所定時間内か、個人試合当日の所定時間内のどちらかを、選手が選択できる。)
 - ⑤ 前年度3位以内に入賞した選手を、シード選手とする。
 - ⑥ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - ⑦ 各階級の優勝者は、第54回全国高等専門学校体育大会(男子個人の部)への出場権を得る。
- (3) 女子個人の部
- ① 階級は、軽量級・中量級・軽重量級・重量級とする。*第50回全国大会より、女子の階級についてはエントリー状況を確認して階級が決定されるため。
 - ② 試合組み合わせは、顧問会議にて出場者数を確認し、リーグ戦・トーナメント戦の試合方式を決定し、抽選を行う。
 - ③ 計量は、顧問会議の時間に、マネージャー立会いのもと行い階級を確認する。
 - ④ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - ⑤ 各階級の入賞者は、北陸地区の同階級入賞者との間で、東海地区・北陸地区の代表顧問間により全国大会出場決定を行い、東海北陸地区代表として各階級3名が、第54回全国高等専門学校体育大会(女子個人の部)への出場権を得る。(前年度全国大会上位入賞者等、過去の実績を重視する。)
- (4) 勝抜団体試合
- ① 出場人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手10名以内、計13名以内とし、全国大会「団体の部」予選に出場しない選手とする。
 - ② 試合はリーグ戦とし、7名による勝抜戦で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
 - ③ 順位決定は、勝数の多いチームを勝とする。同勝数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝数・負数が同じ場合は、残者数の多いチームを上位とする。それでも順位が決定しない場合は、代表戦を行う。
 - ④ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。(当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。)
 - ⑤ 表彰は1位、2位に賞状を授与する。

競 技 役 員

競技委員長 沼津工業高等専門学校寮務主事 川上 誠

競技場主任 松澤 寛

競技役員 高田 和夫 (静岡県柔道協会東部地区幹事長)

望月 優映 (静岡県柔道協会東部地区副幹事長)

小笠原 淳 (静岡県柔道協会東部地区副幹事長)

審判長 須田 直之

救護員 赤池 理

吉田 卓実

審判員 阿部 光好 西川 勝啓 菊地 勝義 加藤 浩之 磯部 拓美 蛭川 徳也 東 亮宏 木村 崇志

審判補助員 高橋 玲奈 根上 愛 藤原 大和 鳥沢 孝啓 太田 瑞月 太田 葉月 望月 珠樺 菅沼 りさ

城所 咲智 佐藤 彩乃 金子 舞花 秦 魁斗

補助員 馬場 雄翔 紙井 勝太郎 (沼津工業高等専門学校柔道部)

選 手 名

団体戦 (全国大会予選)

番号に○印・・・主将

鳥羽商船高等専門学校

監督	林 浩一
コーチ	村林 正美
マネージャー	

番号	氏名	学年	段位
①	潮田 剛	2	初
2	大丸 朗典	2	初
3	瀬古 琉成	3	無
4	名古 健人	3	1級
5	大岡 昇太	5	無
6	辻 皓雄	5	初
7			

豊田工業高等専門学校

監督	熊谷 勇樹
コーチ	森 真一郎
マネージャー	細井 京太郎

番号	氏名	学年	段位
①	川治 隼大	5	初
2	三浦 大	5	初
3	山崎 涼馬	5	無
4	小川 武流	4	無
5	小長野 翔一	4	初
6	松山 彰汰	2	無
7			

鈴鹿工業高等専門学校

監督	高倉 克人
コーチ	仲本 朝基
マネージャー	

番号	氏名	学年	段位
①	林 洸一朗	4	初
2	前田 磨緒	3	初
3	北村 一真	2	初
4	山本 航平	1	初
5			
6			
7			

岐阜工業高等専門学校

監督	山本 浩貴
コーチ	奥村 泰大
マネージャー	長田 知紘

番号	氏名	学年	段位
①	日下部 完	5	参
2	牛丸 克幸	5	参
3	松久 聖	5	参
4	山下 達也	5	参
5	渡邊 猛	5	弐
6	丹下 賢人	5	参
7	日比野 将太	1	初

団体戦 (勝抜戦)

番号に○印・・・主将

豊田工業高等専門学校

監督	今 徳義
コーチ	森 真一郎
マネージャー	蘭 隼也

番号	氏名	学年	段位
1	金子 達真	4	無
2	杉本 隆	4	無
3	寛 優祐	3	無
4	西尾 空	2	無
5			
6			
7			
8			

岐阜工業高等専門学校

監督	栗山 嘉文
コーチ	奥村 泰大
マネージャー	湯朝 登羽

番号	氏名	学年	段位
①	日比野 翔馬	4	弐
2	牟田 麗人	3	弐
3	廣瀬 僚人	2	一
4	若林 虎千代	2	一
5	今井 龍之介	2	一
6	牟田 彩人	1	初
7	清水 陽紀	1	初
8	伴 音二郎	1	初

個人戦 (男子)

鳥羽商船高等専門学校	
監督	富澤 明
マネージャー	

(60kg級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

(73kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	潮田 剛	2	初
2	辻 皓雄	5	初
3			
4			

(90kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	大丸 朗典	2	初
2			
3			
4			

(90kg超級)

番号	氏名	学年	段位
1	瀬古 琉成	3	無
2	名古屋 健人	3	1級
3	大岡 昇太	5	無
4			

豊田工業高等専門学校	
監督	今 徳義
マネージャー	米本 直樹

(60kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	西尾 空	2	無
2	小川 武流	4	無
3	金子 達真	4	無
4	杉本 隆	4	無

(73kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	箕 優祐	3	無
2	小長野 翔一	4	初
3	松山 彰汰	2	無
4			

(90kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	山崎 涼馬	5	無
2	三浦 大	5	初
3			
4			

(90kg超級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

鈴鹿工業高等専門学校	
監督	高倉 克人
マネージャー	

(60kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	水谷 颯	5	初
2	前田 磨緒	3	初
3	山本 航平	1	初
4			

(73kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	林 洗一朗	4	初
2			
3			
4			

(90kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	北村 一真	2	初
2			
3			
4			

(90kg超級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

岐阜工業高等専門学校	
監督	山本浩貴
マネージャー	長田知紘

(60kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	牟田 麗人	3	弐
2	奥村 泰大	5	弐
3	牟田 彩人	1	初
4	清水 陽紀	1	初

(73kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	牛丸 克幸	5	参
2	山下 達也	5	参
3	日比野 将太	1	初
4	渡邊 猛	5	弐

(90kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	日下部 完	5	参
2	日比野 翔馬	4	弐
3	若林 虎千代	2	一
4			

(90kg超級)

番号	氏名	学年	段位
1	松久 聖	5	参
2	丹下 賢人	5	参
3			
4			

個人戦 (女子)

豊田工業高等専門学校	
監督	熊谷 勇樹
マネージャー	鈴木 愛依

(48kg級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

(52kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	磯部 朱梨	3	初
2			
3			
4			

(63kg級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

(63kg超級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

岐阜工業高等専門学校	
監督	山本 浩貴
マネージャー	湯朝 登羽

(48kg級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

(52kg級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

(63kg級)

番号	氏名	学年	段位
1	今井 つかさ	1	一
2			
3			
4			

(63kg超級)

番号	氏名	学年	段位
1			
2			
3			
4			

柔道組合せ

競技開始時刻 6月29日 開会式終了後
6月30日 計量確認終了後

団体戦の部
(全国高専大会団体予選)

第1試合 鳥羽 — 豊田 第2試合 鳥羽 — 岐阜 第3試合 豊田 — 岐阜
第2試合場 岐阜 — 鈴鹿 鈴鹿 — 豊田 鈴鹿 — 鳥羽

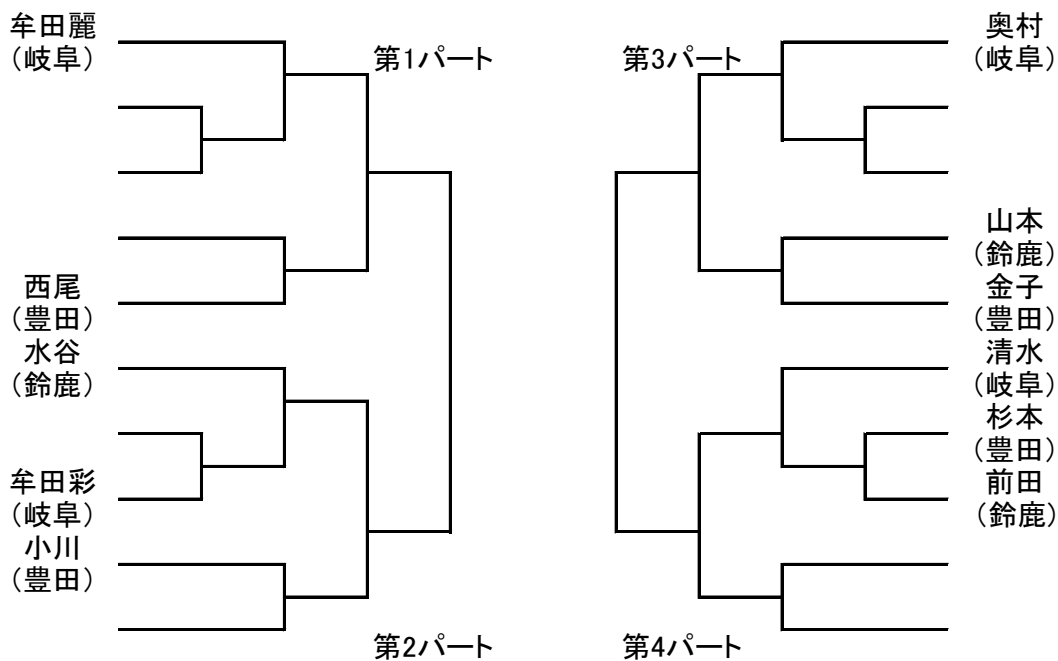
学校名	豊田	鈴鹿	岐阜	鳥羽	勝数	勝者数	総得点	順位
豊田		/	/	/				
鈴鹿	/		/	/				
岐阜	/	/		/				
鳥羽	/	/	/					

団体戦の部
(勝抜戦)

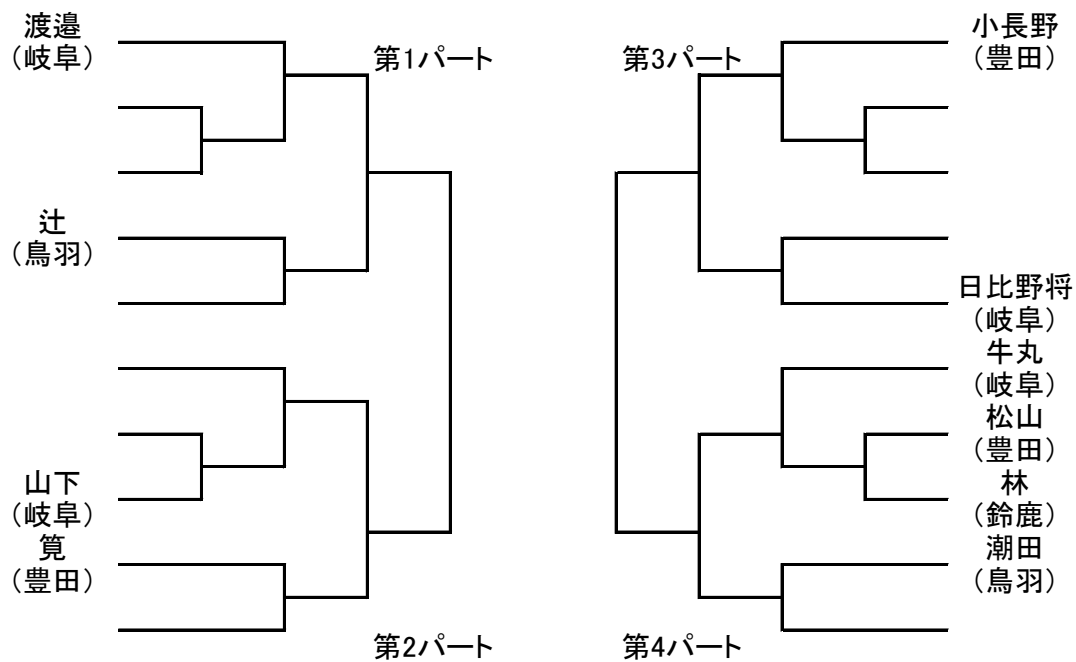
第1試合
第1試合場 岐阜 — 豊田

学校名	岐阜	豊田	勝数	勝者数	総得点	順位
岐阜		/				
豊田	/					

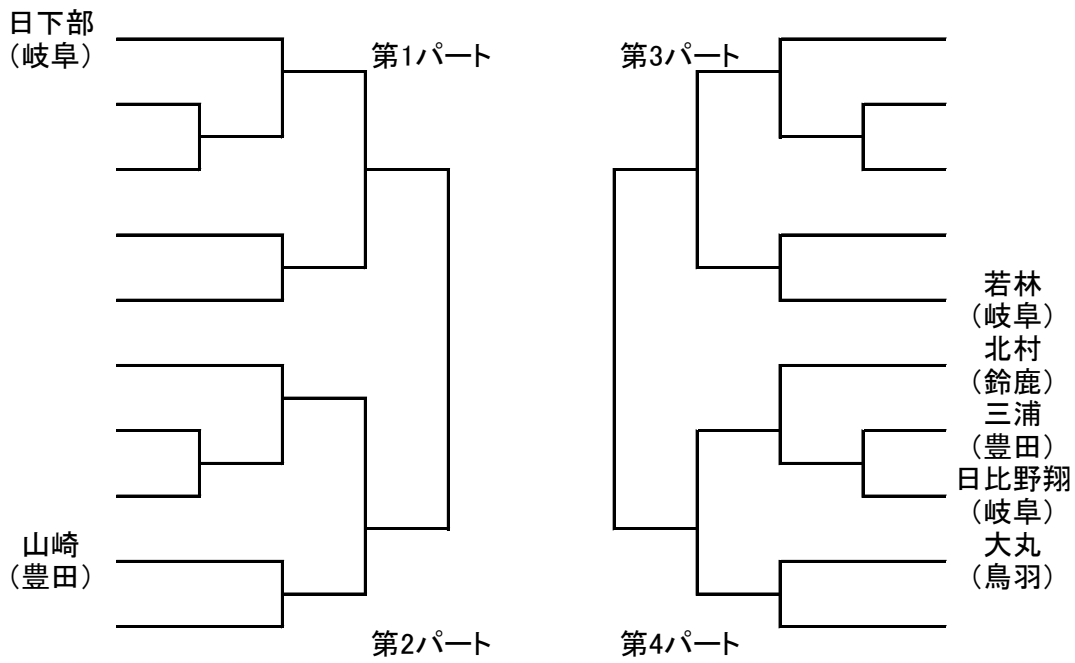
男子個人の部(60Kg級)



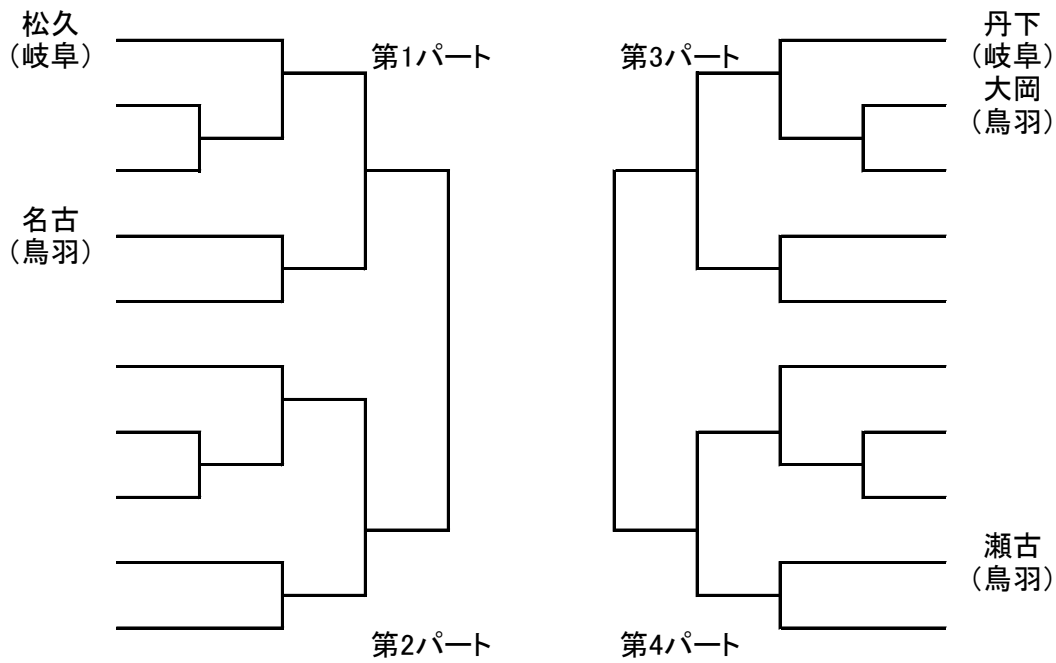
男子個人の部(73Kg級)



男子個人の部(90Kg級)



男子個人の部(90Kg超級)



個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて

第57回東海地区国立高等専門学校体育大会

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。

救 急 病 院

6月28日（金）

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
外科・内科	西島病院	静岡県沼津市大岡2835-7	055-922-8235	11時30分～18時
外科	同愛会鈴木医院	裾野市佐野1471-1	055-993-0430	17時～21時

6月29日（土）

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
外科・内科	西島病院	静岡県沼津市大岡2835-7	055-922-8235	8時～15時
外科	瀬尾記念慶友病院	沼津市下香貫島郷2773-1	055-935-1511	12時～18時
内科	大橋内科・小児科医院	裾野市佐野932-1	055-992-2800	12時～18時

6月30日（日）

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
外科	こんどうクリニック	沼津市岡宮1157-1	055-925-2420	8時～18時
外科	遠藤クリニック	清水町久米田159-4	055-975-8801	8時～18時
内科	さとやまクリニック	沼津市東原560-1	055-939-8031	8時～18時
内科	白石医院	沼津市市道町12-25	055-951-4593	8時～18時

【問合せ】救急協力医テレホンサービス：055-983-0116

※協力医は変更になる場合がありますので、事前に電話で確認してください。

第57回東海地区国立高等専門学校体育大会 柔道競技会場

【会場アクセス】



武道場

ロータリ
(乗降場所)



【駐車場について】

当該施設には、バスを駐車することができません。

施設南側入口のロータリで選手・引率者の乗降をした後、バスはご退出くださいますよう、よろしくお願いいたします。

留置きバスにつきましては、沼津高専の駐車場をご用意しておりますので、ご利用ください。

【バス留置き（沼津市香陵武道場 ↔ （沼津高専）約20分】



沼津高専キャンパスマップ

バス留置き

